

シャボン玉月間によせて

志木市長 香川 武文

志木市は、全国で6番目に小さい市ですが、市内の中心に「新河岸川」と「柳瀬川」が、東には「荒川」が流れ、古くは舟運で栄えるなど、水の恵みを楽しみながら発展してきました。

こうした自然とその恵みを後世に引き継ぐために、市民と協働による清掃活動の実施や小学校における環境学習の推進、さらには、より良い環境を将来の世代に承継する人材の育成を目的とした「志木市民環境大学」の開講など、様々な観点から環境課題の解決に向けた取組を実施しています。

貴会の地道な環境活動による成果に心から敬意を表しますとともに、これからも「せっけん運動」や環境問題への取組の輪が広がりますようご期待申し上げます。

ー石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せてー

所沢市長 藤本 正人

埼玉県南西部の中核都市として発展してきた所沢市は、武蔵野台地の自然に恵まれ、鎌倉街道の拠点として発達し、日本人が初めて大空にはばたいた記念すべき街です。狭山丘陵付近に源を発する、柳瀬川、東川は、市民に潤いと安らぎを与え、貴重な動植物の生息の場になっています。

未来の子どもたちの輝く笑顔のため、ふるさとの豊かなみどりと川を守り、継承していくことは、今を生きる私たち大人の使命です。本市では、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に基づき、私たち一人ひとりが今までの生活を見直し、限りある資源やみどりを大切に、地球にやさしい生活をマチぐるみで行い、人と自然が真に寄り添う調和したマチを目指しています。

貴会による「せっけん運動」は、過度に資源やエネルギーに頼らず、豊かな自然を次の世代へ継承しようとする取組で、本市が推進するエコタウンの趣旨にも繋がる活動であると認識しております。是非、今後も続けていただきたいと思います。

結びに、皆様のこれまでの御尽力に心から敬意を表しますとともに、活動の輪が今後さらに広がり、実り多いものとなりますよう、皆様方の御活躍を心からお祈り申し上げます。

なお、私は今も石けんで頭を洗っております。

「シャボン玉月間」に寄せて

新座市長 並木 傑

新座市は、首都近郊ながらも、武蔵野の面影を色濃く残す平林寺境内林などの雑木林が広がるとともに、柳瀬川、黒目川及び野火止用水が流れ、自然環境に恵まれたまちです。

本市では、これらの貴重な自然環境を将来にわたって引き継ぐため、「みんなで築く雑木林とせせらぎのある住みよい環境のまちにいざ」を望ましい環境像に掲げ、市民、事業者及び市の三者の協働によって環境の保全等に向けた取組を推進しています。

貴会の推進する「せっけん運動」は、身近な水環境保全活動として大変意義深い取組であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後の更なる御発展を心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

富士見市長 星野光弘

荒川、新河岸川、柳瀬川などの河川を有する富士見市は、水田地帯として豊富な水を利用してきました。また、多くの湧き水も存在し、首都近郊では自然環境に恵まれたまちです。

その豊かな水資源を将来に引き継いでいくため、市民向けに「富士見市湧き水マップ」を作成しています。このマップを市内の小学3年生に配布して環境学習で活用するなど、環境について考える様々な取り組みを行っています。

今後も、「環境にやさしい都市宣言」を基に、心和ませる水と緑豊かな自然環境の保全に努めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が大きく広がっていきますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

ふじみ野市長 高畑 博

ふじみ野市を流れる新河岸川の周辺では、湧水群や川沿いの斜面林など水と緑豊かな自然環境が残っており、水田が広がっております。郊外には、田園風景が広がり、緑豊かな景観が継承されています。

当市では毎年、河川の水質を継続的に調査し、その結果を「環境年次報告書」としてまとめ、ホームページで公開しているところです。また、環境保全の観点から、合成洗剤などの使用を控え、環境負荷の少ない石けんの使用を、市民の方に呼びかけております。

当市の目指す環境像である、「みんなではぐくむ 緑豊かな住みよいまち ふじみ野」を礎に、多くの方々に身近な環境に関心を持っていただくよう、環境にやさしいまちづくりの推進など、今後も各種施策を展開してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、貴会がますますご発展されることを心より祈念いたします。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

三芳町長 林 伊佐雄

三芳町は、首都圏 30 k m圏という好条件に位置し、みどり豊かな武蔵野の雑木林や三富新田に代表される田園風景が広がる自然と都市機能が調和したまちです。

本町では、生活排水の適正処理のため、公共下水道接続率の向上や合併浄化槽の普及促進により生活排水処理率向上に努めています。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、石けんでの手洗いの大切さが再認識されています。このような中、「未来へのバトンを繋ぐ、せっけんライフ～守ろう地球、きれいな海～」を合言葉に、未来へ繋ぐ美しい自然と豊かな循環型社会のための貴会の活動がより一層の成果を収められることを期待いたしますとともに、更なる発展を心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」令和2年度市長メッセージ

和光市長 松本 武洋

和光市は、埼玉県の南端にあり、東京都に隣接しながらも、荒川沿いの農地、斜面林や湧き水など豊かな自然に恵まれた土地です。また、鉄道3路線が乗り入れる和光市駅や東京外環道の2つのインターチェンジを擁する、利便性の高い住宅都市として発展してきました。

当市では、「第二次環境基本計画」を策定し、市民協働による緑地保全や地球温暖化防止実行計画を策定する等、様々な環境施策を実施しています。

また、市とNPO法人が協働して市内の水環境や身近な自然が掲載された「和光市自然環境マップ」を作成し、市内散策や環境学習に利用されています。

貴会の長年にわたる取り組みが、豊かな自然を次世代に引き継ぎ、環境保全を推進していることについて敬意を表するとともに、今後ますます「せっけん運動」の輪が広がりますことを心からお祈りいたします。